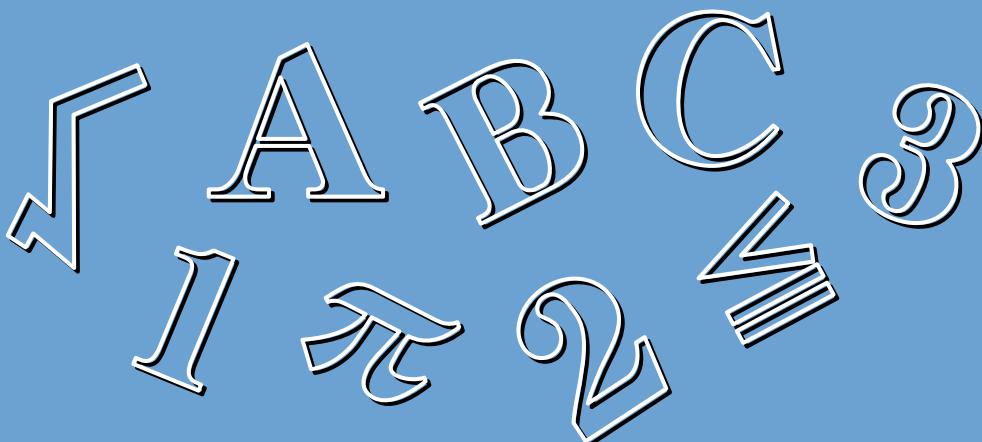


# 家庭学習の手引き

中学校用



## 家庭学習では、「くりかえし」「積み重ね」が大事！

☆人は、学習したことの約70%を翌日には忘れてしまう、といわれています。学校で学習したことを、家庭でくりかえすことで定着が図られます。自信にもつながります。

☆学習したことを自分のものにするためにも家庭学習が大事です。

☆毎日、決まった時間、決まった場所、決まった姿勢で家庭学習できるよう家庭で決めることが学習の習慣化につながります。それを3ヶ月以上続けると効果があるといわれています。

湯浅町教育委員会

あなたは、今まで家庭学習をどのように進めていたでしょうか？いろいろな勉強の仕方があると思います。自分に合った勉強法を身につけられるといいですね。今から家庭学習についてのアドバイスを述べていきます。参考にして、自分に合った勉強法を見つけていってください。



はじめは時間がかかるものもあるかもしれません、慣れれば能率も上がるでしょう。

ちょっとテレビを我慢して、ちょっとゲームを我慢して、少しずつ、ねばり強く、確実に続けていきましょう。



**【予習】** 何より教科書をよく読むことが大切です。授業の前日には教科書をしっかり読んで文章のあらましをつかみ、次に、知らない言葉の意味を調べておきます。

**【復習】** 学習したところを音読し、漢字練習もします。また、ノートで大切なことを確認して、問題集にも取り組みます。

#### 〈自主学習の内容例〉

- ・言葉に関する学習…四字熟語、同音異義語、慣用句、ことわざなどを調べます。
- ・読書量を増やす…新聞なども含め、読む習慣をつけます。様々な人の生き方や考えに触ることで、言葉の力が高まります。



**【予習】** 事前に教科書の授業するところを読み、わからないことや調べたいことを整理しておきます。用語を辞典などで調べておくことも大切です。

**【復習】** 授業で学習したことをその日のうちに教科書やノートで振り返り、問題集にも取り組みます。

#### 〈自主学習の内容例〉

- ・テレビや新聞のニュースの活用…現在の政治や経済の動きもつかんでおきます。
- ・地域の施設利用や行事体験…地域で学んだことをまとめておきます。



**【予習】** 教科書みて、難しい用語がある場合はチェックし、その意味を考えます。また、質問できるようにも準備します。

**【復習】** ノートや教科書をみながら、授業でやった問題をもう一度自分で解いてみます。やり方が理解できていれば、問題集等を利用して類題に取り組みます。

#### 〈自主学習の内容例〉

- ・繰り返しの学習…復習でまちがえた問題をもう一度解いてみます。
- ・発展問題に挑戦…いろいろな問題にあたり、レベルアップを図ります。



**【予習】** 教科書をみて、太字などで書かれている基本用語や重要語句について調べ、理解しておきます。

**【復習】** 観察や実験したことをもう一度ノートに整理したり、実験器具の使い方や注意点、薬品のはたらきなどもまとめておくことが大切です。

#### 〈自主学習の内容例〉

- ・問題集の練習問題………公式や計算問題は練習問題によってマスターできます。
- ・インターネットの活用…「なぜ?」と思ったときに調べてみます。



**【予習】** 新しく出てきた英単語の意味を調べて、ノートに書きます。次に、教科書の本文を写し、読む練習します。

**【復習】** 英単語を繰り返し書いて覚えます。また、学習した基本文や文法事項も何度も書いて覚えます。そして、教科書を暗唱できるくらい音読します。

#### 〈自主学習の内容例〉

- ・ラジオ講座等の利用…学年にあったNHKの英語講座を聴いて学習します。
- ・英語に親しむ…………簡単な英語の歌を聴いたり、英語で日記を書きます。

**どうですか、参考になりましたか？ いいなと思ったものは、まず試してみましょう。やっていくうちに自分に合ったしかたにしていってください。**

**それでは、今後の家庭学習の具体的な目標を考えてみましょう。**

#### 家庭学習の目標

#### 家庭学習を習慣化しよう

学力アップは、規則正しい生活から

- 早寝・早起き
- 朝食を必ずとる
- 朝の排便

#### 家庭学習のポイント

- 宿題は必ずやる
- 自分で計画を立ててやる
- 毎日の予習・復習が学力アップの力ギ
- ～ながら勉強はしない

**日々の努力で実力をつけて、卒業後は、自分の夢をかなえられるようにがんばりましょう！**



# 家庭学習の仕方

中学校での家庭学習は、特に予習・復習がとても大切で、継続的な学習が重要となります。「継続は力なり」、一言でいえば「努力」ですが、家庭学習のポイントを紹介しておきますので、自分で工夫しながら地道に取り組みましょう。

# 家庭学習の4つのポイント

## 1 家で勉強する時間を決めておく。

帰ってからいつ始めるか、始める時間を必ず決めること。毎日ほぼ決まった時間にすること。それを繰り返すことで、習慣になると後々が楽になります。

※実際は、部活のある日、部活のない日、塾などがある日、土曜・日曜でそれぞれ勉強時間の基本的な計画を作つてみましょう。

## 2 最初にまず「宿題」をやる。

苦手な教科でも、宿題を後回しにすると結局できなくなることもあるので、必ず宿題を先にやることが大切です。



### 3 時間に余裕があるときは、「苦手な教科」の予習をする。

得意な教科は授業あまり困ることはありません。苦手な教科こそ家庭で学習しておくと、授業が少しでもわかるようになります。そのためにも苦手な教科の予習をがんばりましょう。

#### 4 苦手な教科の予習は、まず教科書を読むことから。

次に習うところの教科書のページを読むだけでもかなり効果的な予習となります。無理せず、まずここから始めましょう。次は、問題を少しやってみるなど、どんどん自分で工夫していきましょう。

# 家庭学習の計画をたててみよう

(帰宅、夕食、勉強、塾、就寝などを入れましょう)

午後 4	5	6	7	8	9	10	11	12
部活のある日								

午後 4	5	6	7	8	9	10	11	12
塾などがある日								